

基礎的データからみる地上波民放テレビの 地域情報の発信・流通機能の現況

京都産業大学 現代社会学部 教授
脇浜 紀子



- ◆ 元読売テレビのアナウンサー(1990-2015)
「ズームイン!朝!!」キャスターなど、報道・情報番組等を担当
- ◆ 阪神淡路大震災の報道経験をきっかけにメディア研究をスタート
- ◆ 2017年より現職 / 研究分野は地域メディア・地域情報
- ◆ 神戸生まれの神戸育ち、神戸在住
神戸を拠点とした新しい地域メディア「078NEWS」プロジェクト主催



東洋経済新報社, 2001



中央経済社, 2014

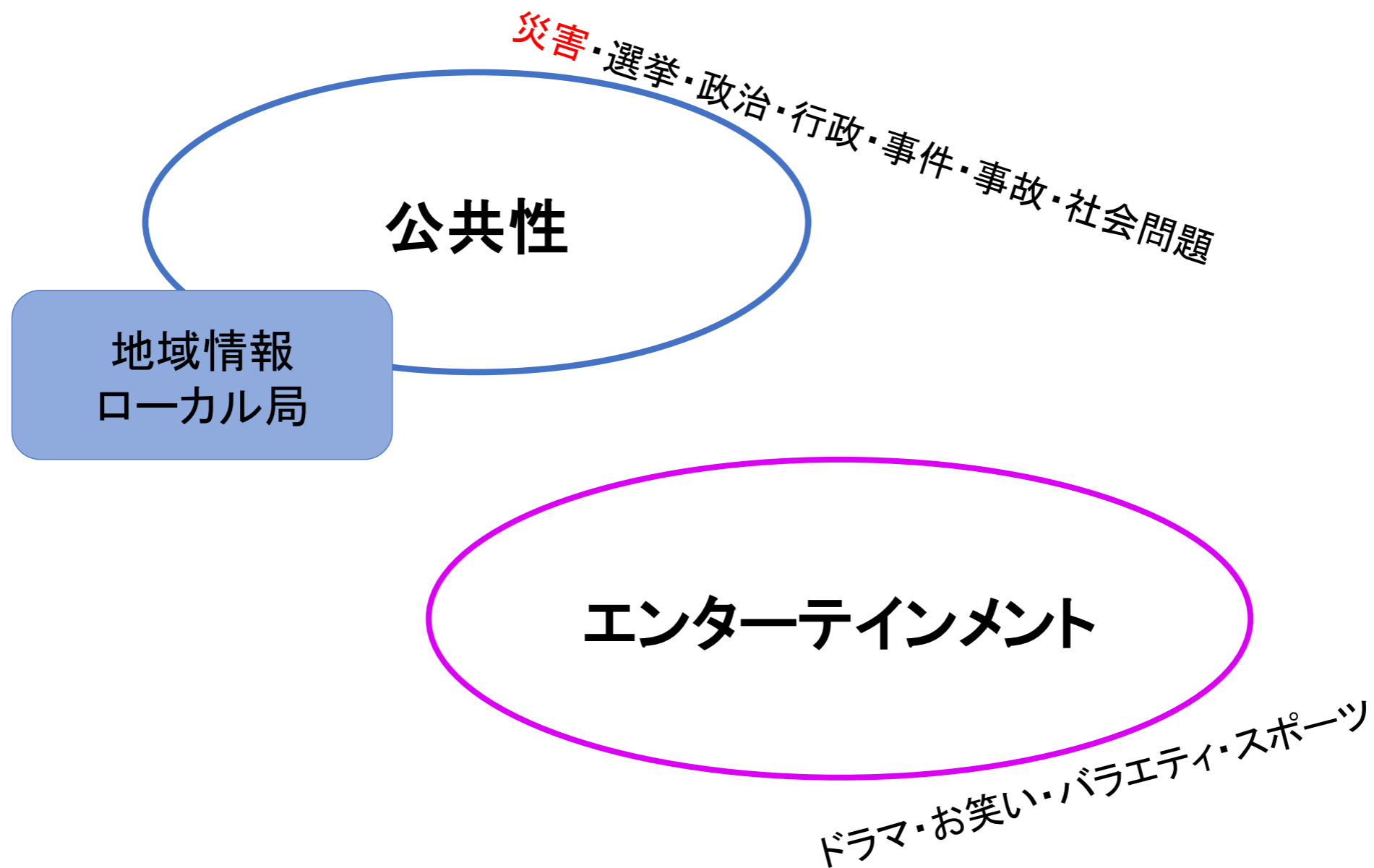


日本評論社, 2015



中央経済社, 2019

日本のテレビ局コンテンツ



デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会

- 複数の放送対象地域において放送番組の同一化が可能となる制度を創設
- 併せて、地域情報発信を確保するための仕組みを措置すべき



データでの現状の把握が必要

**各都道府県に
民放地上波テレビで放送できる時間は
どのくらいあるのか？**

現行の放送制度で確保されている民放テレビによる地域情報発信・流通機能の基礎的指標

脇浜(2019)「地上波民放テレビの地域情報流通機能に関する現況分析」
『公益事業研究』, 70(2),33-44頁.

地域情報流通機能を規定する要素

- 放送対象地域とテレビ局の数(置局数)
- 自社制作比率(民放テレビネットワーク)

分析の枠組

放送メディアの特性＝1チャンネルにつき最大1日24時間の放送枠

(＊電波のスピルオーバー、区域外再放送、マルチチャンネル放送は考慮しない)

当該地域の局が放送できる時間の総量を都道府県比較



地域情報流通枠

①地域情報流通可能枠

- 全放送時間を自局発の地域情報にあてる
- 広域と複数県域は域内の都府県数で除する

②地域情報流通実質時間

- ①に自社制作比率(域内平均)を乗じる

全民放地上波テレビ局の置局状況(ネットワーク別)

*クロスネット局

	JNN・28局	NNN・30局	FNN・28局	ANN・26局	TXN・6局	県域独立局・13局		JNN・28局	NNN・30局	FNN・28局	ANN・26局	TXN・6局	県域独立局・13局
北海道	北海道放送	札幌テレビ放送	北海道文化放送	北海道テレビ放送	テレビ北海道		大阪	毎日放送	読賣テレビ放送	関西テレビ放送	朝日放送テレビ	テレビ大阪	
青森	青森テレビ	青森放送		青森朝日放送			滋賀						びわ湖放送
岩手	アイビーシー岩手放送	テレビ岩手	岩手めんこいテレビ	岩手朝日テレビ			京都						京都放送
宮城	東北放送	宮城テレビ放送	仙台放送	東日本放送			奈良						奈良テレビ放送
秋田		秋田放送	秋田テレビ	秋田朝日放送			兵庫						サンテレビジョン
山形	テレビユー山形	山形放送	さくらんぼテレビジョン	山形テレビ			和歌山						テレビ和歌山
福島	テレビユー福島	福島中央テレビ	福島テレビ	福島放送			鳥取	山陰放送	日本海テレビジョン放送				
東京	TBSテレビ	日本テレビ放送網	フジテレビジョン	テレビ朝日	テレビ東京	東京MX	島根		山陰中央テレビジョン放送				
群馬						群馬テレビ	岡山	山陽放送				テレビせとうち	
栃木						とちぎテレビ	香川		西日本放送		瀬戸内海放送		
茨城							徳島		四国放送				
埼玉						テレビ埼玉	愛媛	あいテレビ	南海放送	テレビ愛媛	愛媛朝日テレビ		
千葉						千葉テレビ放送	高知	テレビ高知	高知放送	高知さんさんテレビ			
神奈川						テレビ神奈川	広島	中国放送	広島テレビ放送	テレビ新広島	広島ホームテレビ		
新潟	新潟放送	テレビ新潟放送網	NST新潟総合テレビ	新潟テレビ21			山口	テレビ山口	山口放送		山口朝日放送		
長野	信越放送	テレビ信州	長野放送	長野朝日放送			福岡	RKB毎日放送	福岡放送	テレビ西日本	九州朝日放送	TVQ九州放送	
山梨	テレビ山梨	山梨放送					佐賀			サガテレビ			
静岡	静岡放送	静岡第一テレビ	テレビ静岡	静岡朝日テレビ			長崎	長崎放送	長崎国際テレビ	テレビ長崎	長崎文化放送		
富山	チューリップテレビ	北日本放送	富山テレビ放送				熊本	熊本放送	熊本県民テレビ	テレビ熊本	熊本朝日放送		
石川	北陸放送	テレビ金沢	石川テレビ放送	北陸朝日放送			大分	大分放送	テレビ大分*	テレビ大分*	大分朝日放送		
福井		福井放送*	福井テレビジョン放送	福井放送*			宮崎	宮崎放送	テレビ宮崎*	テレビ宮崎*	テレビ宮崎*		
愛知	CBCテレビ	中京テレビ放送	東海テレビ放送	名古屋テレビ放送	テレビ愛知		鹿児島	南日本放送	鹿児島読賣テレビ	鹿児島テレビ放送	鹿児島放送		
岐阜						岐阜放送	沖縄	琉球放送		沖縄テレビ放送	琉球朝日放送		
三重						三重テレビ放送							

関東・中京・関西は広域圏、＜鳥取・島根＞＜岡山・香川＞は複数県域圏、他は県域圏
茨城を除く広域圏の各都府県には県域独立局が1局ずつある

自社制作比率

* 関東は広域キー5局、中京は広域準キー4局、関西は広域準キー4局の平均。愛知と大阪はTXN系列局。
東京・群馬・栃木・埼玉・千葉・神奈川・岐阜・三重・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山は県域独立局。

放送対象地域	放送対象地域 平均(%)	放送対象地域	放送対象地域 平均(%)	放送対象地域	放送対象地域 平均(%)
北海道	15.5	静岡	11.3	鳥取・島根	7.6
青森	7.6	富山	8.0	岡山・香川	10.0
岩手	9.3	石川	9.4	広島	15.2
宮城	10.1	福井	12.0	山口	8.3
秋田	7.5	中京	20.3	徳島	8.7
山形	6.5	愛知	6.3	愛媛	9.0
福島	9.1	岐阜	6.2	高知	7.5
関東	94.4	三重	13.8	福岡	15.5
東京	21.4	関西	34.4	佐賀	9.8
群馬	30.6	大阪	10.4	長崎	8.4
栃木	28.2	兵庫	17.5	熊本	12.2
埼玉	27.5	京都	22.4	大分	8.9
千葉	31.0	滋賀	8.9	宮崎	7.0
神奈川	33.7	奈良	8.5	鹿児島	10.0
新潟	7.8	和歌山	7.1	沖縄	7.6
長野	9.6	(2016年4月6日-12日)			
山梨	9.3				

出所:「日本民間放送年鑑2016」にもとづき筆者作成

地域情報流通可能枠（時間／年）

$$= (【県域局数】+【広域局数】 \div 【放送対象地域内県数】) \times 【24時間】 \times 【365日】$$

都道府県	地域情報流通 可能枠 (時間)	都道府県	地域情報流通 可能枠 (時間)	都道府県	地域情報流通 可能枠 (時間)
北海道	43,800	青森	26,280	栃木	15,017
福岡	43,800	秋田	26,280	群馬	15,017
岩手	35,040	富山	26,280	埼玉	15,017
宮城	35,040	山口	26,280	千葉	15,017
山形	35,040	高知	26,280	東京	15,017
福島	35,040	大分	26,280	神奈川	15,017
新潟	35,040	沖縄	26,280	滋賀	14,600
石川	35,040	岡山	21,900	京都	14,600
長野	35,040	香川	21,900	大阪	14,600
静岡	35,040	愛知	20,440	兵庫	14,600
広島	35,040	岐阜	20,440	奈良	14,600
愛媛	35,040	三重	20,440	和歌山	14,600
長崎	35,040	福井	17,520	鳥取	13,140
熊本	35,040	山梨	17,520	島根	13,140
鹿児島	35,040	宮崎	17,520	徳島	8,760
				佐賀	8,760
				茨城	6,257

地域情報流通実質時間（時間／年）

$$=([\text{県域局数}] \times [\text{自社制作比率a}] + [\text{広域局数}] \div [\text{放送対象地域内県数}] \times [\text{自社制作比率b}]) \times [\text{24時間}] \times [\text{365日}]$$

都道府県	地域情報流通 実質枠 (時間)	都道府県	地域情報流通 実質枠 (時間)	都道府県	地域情報流通 実質枠 (時間)
神奈川	8,858	鹿児島	3,486	山口	2,181
千葉	8,621	長野	3,374	岡山	2,181
群馬	8,586	石川	3,276	香川	2,181
栃木	8,376	岩手	3,269	富山	2,102
埼玉	8,314	福島	3,171	福井	2,102
東京	7,780	愛媛	3,136	青森	1,997
北海道	6,807	長崎	2,943	沖縄	1,989
福岡	6,780	愛知	2,926	秋田	1,979
茨城	5,905	大阪	2,922	高知	1,963
広島	5,309	岐阜	2,918	山梨	1,621
熊本	4,257	滋賀	2,790	宮崎	1,226
京都	3,973	奈良	2,755	鳥取	1,003
静岡	3,960	新潟	2,726	島根	1,003
三重	3,583	和歌山	2,633	佐賀	858
宮城	3,550	大分	2,347	徳島	762
兵庫	3,544	山形	2,260		

- 現行の放送制度で確保されている地域情報流通機能にはかなりのばらつきがある
- 地域情報流通可能枠は、福岡県(県域・510万人)が43,800時間、兵庫県(広域・550万人)が14,600時間と3倍差
- 過疎地域の小規模ローカル局だけではなく、三大都市圏でも地域情報流通機能が不十分である
- 複数の放送対象地域において放送番組の同一化は、事実上の「広域圏化」といえる
- 放送が持続的に社会的役割を担うために経営の自由度を高めることは必要で、放送番組の同一化という選択肢を設けることはその一つ
- そのための地域情報発信を確保するための仕組みにおいて定量的な評価は必須で、その仕組みを考える際に、現在の広域圏の地域情報発信・流通の現状を評価・検証して参考にすべきではないか(地上波伝送路だけではない「放送の地域性」の評価方法の検討)